



製品アップグレードガイド



FileMaker 各バージョンの発売時期と追加された主な新機能

主な機能	年	FileMaker プラットフォーム	iOS	mac	Windows
FileMaker 10 ステータスツールバー スクリプトトリガ ダイナミックレポート機能 検索条件の保存 SMTP 経由のメール送信 フィールドを名前で設定するスクリプトステップ 挿入時のタブ順設定 IPv6 のサポート ポップアップヘルプ iPhone 発売	2009		OS X iPhone 2		
	2010		iPhone OS 3	Mac OS X 10.6	Windows 7
FileMaker 11 FileMaker グラフ クイックレポート 定期的なインポート スナップショットリンク クイック検索 インスペクタ レイアウトフォルダ ポータルフィルタリング 外部ファイルの保護 検索条件とマージフィールドに変数の使用 FileMaker Go 11 リリース	2011 2012		iOS 4	Mac OS X 10.7 Lion	
			iOS 5		
FileMaker 12 洗練されたテーマ レイアウト支援ツール 一新されたサンプル App オブジェクトフィールドの強化 クイックグラフ iOS デザイン&開発ツール ウインドウスタイルの定義 [URL から挿入]スクリプトステップ Execute SQL 関数 ESS との統合強化 FileMaker Go 12 無償化 iPad発売 インスタント Web 終了 64ビット 対応	2013		iOS 6	OS X 10.8 Mountain Lion	Windows 8
			iOS 7	OS X 10.9 Mavericks	Windows 8.1
FileMaker 13 カスタムテーマ スタイル 充実したインスペクタの属性 フィールドピッカー データベースの暗号化 スライドコントロール / ポップオーバー オブジェクトの表示 / 非表示を操作 計算式を用いるタブコントロールのタイトルとダイアログボタンのタイトル FileMaker WebDirect [サーバー上のスクリプト実行] スクリプトステップ	2014 2015		iOS 8	OS X 10.10 Yosemite	
			iOS 9	OS X 10.11 El Capitan	Windows 10 (バージョン 1507)
FileMaker 14 スクリプトワークスペース 新しい計算式の指定ダイアログボックス アプリケーションアイコン ボタンバー / ボタンアイコン 上部および下部のナビゲーションパート フィールド内のブレースホルダテキスト オブジェクトコンポーネントのスタイル	2016		iOS 10	macOS 10.12 Sierra	Windows 10 November Update (バージョン 1511)
			iOS 11		Windows 10 Anniversary Update (バージョン 1607)
FileMaker 15 製品内でソフトウェア更新 スクリプトを元に戻す スクリプトエラーの強調表示 ESS アダプタ (PostgreSQL、IBM Db2) Web ベースのヘルプ マスク付き編集ボックス ポータルの進行状況バー スクリプトによる指定テーブル内 データの一括削除 SSL 証明書サポート (ワイルドカード、SAN に対応)	2017		iOS 12	macOS 10.13 High Sierra	Windows 10 Creators Update (バージョン 1703)
			iOS 13		Windows 10 Fall Creators Update (バージョン 1709)
FileMaker 16 レイアウトオブジェクトウインドウ カードウインドウ Windows 上で新しい FileMaker Pro インターフェース 値一覧のコピーと貼り付け FileMaker データソース参照内の変数 cURL オプションの機能強化 JSON 関数 外部スクリプトステップ クリック可能なセキュリティ ロックアイコン OAuth 2.0 のサポート フィールドレベルでの テキストの暗号化	2018		iOS 14	macOS 10.14 Mojave	Windows 10 April 2018 Update (バージョン 1803)
			iOS 15		Windows 10 October 2018 Update (バージョン 1809)
FileMaker 17 マスタ/詳細レイアウトグループオブジェクトの選択 一新されたレイアウトモード Starter App [マイ App]ウインドウ デフォルトのフィールド 電子メールへの複数ファイルの添付をサポート FileMaker Data API 正式サポート FileMaker Server Admin Console デザイン変更 FileMaker Pro / Pro Advanced 一本化	2019		iOS 16		

主な機能	年	FileMaker プラットフォーム	iOS	mac	Windows
FileMaker 18 データインポートのための新しいユーザインターフェース 起動時に特定のカスタム App を開く ファイルバージョンの比較 ファイルベースのスクリプトステップ スクリプトエラーログ While 関数 / SetRecursion 関数 新しいセキュリティアクセス管理 / [セキュリティの管理] ダイアログボックス プラグインセキュリティの機能強化 デフォルトのファイルアクセス保護 FileMaker Server Admin API サポート	2020		iOS 13	macOS 10.15 Catalina	Windows 10 May 2019 Update (バージョン 1903)
			iPadOS 13		Windows 10 November 2019 Update (バージョン 1909)
FileMaker 19 FileMaker Pro に名称変更 JavaScript の統合 FileMaker WebDirect でカードのサポート Claris ID および外部アイデンティティ プロバイダ (IdP) アカウント認証 NFCタグの読み込み 機械学習モデルを構成 Siri ショートカットのサポート macOS ダークモードのサポート macOS ドラッグ操作での FileMaker Pro のインストール CentOS Linux 対応 (FileMaker Server) ランタイム終了 32 ビット 対応終了 Windows 7 対応終了	2021		iOS 14 iPadOS 14	macOS Big Sur	Windows 10 May 2020 Update (バージョン 2004)
			iOS 15 iPadOS 15		Windows 10 October 2020 Update (バージョン 20H2)
FileMaker 19.3 macOS Apple シリコンをネイティブサポート Windows Web コンテンツの Microsoft Edge サポート Ubuntu 対応 (FileMaker Server) CentOS 対応終了	2021/06				Windows 10 May 2021 Update (バージョン 21H1)
FileMaker 19.4 macOS Monterey ショートカット によるタスク自動化 (FileMaker Pro) OAuth アイデンティティプロバイダのカスタマイズ iOS 15 および OpenSSL 1.1.1f 対応 (FileMaker Go)	2021/11			macOS Monterey	Windows 11 (バージョン 21H2)
FileMaker 19.5 オブジェクトフィールドのイメージから文字認識・ QR コードのテキスト読み取り FileMaker WebDirect のパフォーマンス向上 パラレルバックアップ・バックアップのキャンセル (FileMaker Server) ライセンス証明書ファイルの置き換え Windows 8.1 対応終了	2022/06			macOS Ventura	Windows 11 2022 Update (バージョン 22H2)
FileMaker 19.6 Apple ID 認証追加 トランザクションによる制御とデータの整合性の向上 [クローンのみ] バックアップ FileMaker WebDirect 全体的なパフォーマンス 改善 FileMaker Server Admin Console からログを 一括ダウンロード Windows Server 2016 対応終了 Ubuntu 18.04 LTS 対応終了	2022/12				
FileMaker 2023 [OnWindowTransaction] スクリプトトリガを追加 [メール送信] にて OAuth 2.0 サポート [Claris Connect フローをトリガ] スクリプトステップを追加 FileMaker Server でホストできるファイル数 256 までに拡大 FileMaker WebDirect 同時アクセス 1000 クライアントまでに拡大 GetLiveText 関数 日本語対応	2023/05		iOS 17 iPadOS 17	macOS Sonoma	Windows 11 2023 Update (バージョン 23H2)
FileMaker 2024 AI スクリプトステップと関数 セマンティック検索 Web ビューで WebRTC サポート Let's Encrypt システムスクリプト (FileMaker Server) FileMaker WebDirect のモバイルブラウザでタッチキーボード対応 HTTPS トンネリングのサポート ウィジェットを追加 をサポート (FileMaker Go)	2024/06				

各バージョンで追加された主な機能について、詳しくはナレッジベースをご覧ください。 <https://www.claris.com/ja/kb>

AI の活用

最新の FileMaker では機械学習、生成 AI の活用などが標準機能としてサポートしています。

Apple の Core ML（機械学習）連携

Apple が提供する Create ML などを利用して作成された Core ML モデルをロードして推論結果を得ることができます。

FileMaker で機械学習やってみる

<https://www.claris.com/ja/blog/2021/ml-0>

Image

Result

strawberry
92.4%

```
{
  {
    "classification": "strawberry",
    "confidence": 0.92431640625
  },
  {
    "classification": "strainer",
    "confidence": 0.00519180297851562
  },
  {
    "classification": "sea urchin",
    "confidence": 0.000680923461914062
  }
}
```

テキスト認識アルゴリズムを使用した文字認識

テキスト認識アルゴリズムを使用して画像に含まれるテキストを返す GetLiveText 関数、さらに XY 座標を JSON 形式で返す GetLiveTextAsJSON を利用することで文字起こしや伝票の OCR 処理などに活用ができます。



精算レシートを簡単に読み取る方法：GetLiveText 関数を活用しよう！

<https://www.claris.com/ja/blog/2023/filemaker2023-getlivetext>

LLM を活用したセマンティック検索

テキスト埋め込みモデル（OpenAI など）を利用して検索クエリの意図や文脈上の意味を解釈し、クエリに含まれる単語が検索対象データに存在しない場合でも、より関連性の高い結果を提供するセマンティック検索が標準機能としてサポートしました。



蓄積したデータからさらに価値を引き出す Claris FileMaker 2024

<https://www.claris.com/ja/blog/2024/get-even-more-value-from-your-company-data-with-claris-filemaker-2024>

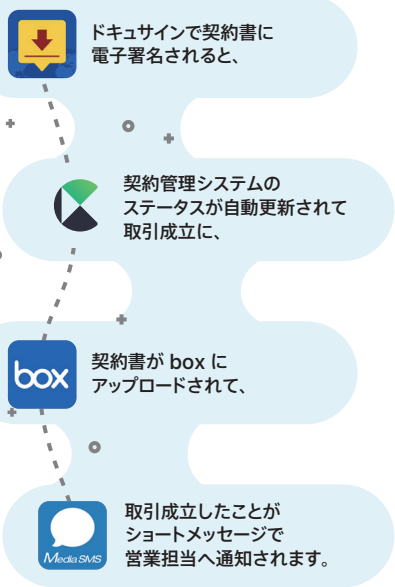
外部 Web アプリケーションやサービスとの統合

FileMaker では、他のアプリケーションや Web サービスと API で連携するための機能が利用可能です。たとえば、FileMaker からビジネスチャットサービスの API を利用して通知メッセージを送信したり、クラウド型ワークフローツールの API を利用して稟議のデータを送信するなどの連携ができます。同時に、FileMaker にも API が用意されているため（Data API）、外部システムから FileMaker に対してデータ取得や更新などの処理を行うこともできます。

さらに Claris Connect があれば、さまざまなアプリケーションやサービスをもっと簡単に連携・統合し、作業の自動化と業務効率アップを実現できます。Claris Connect は、FileMaker の有無に関わらず使用できます。まずは無料利用枠で利便さを実感してください。このように API 連携や Claris Connctet により、既存のサービスやアプリケーションを活用しながらカスタム App の可能性を広げることが可能となります。

Claris FileMaker Data API ガイド：<https://help.claris.com/ja/data-api-guide/>
JSON 関数の使い方：<https://help.claris.com/ja/pro-help/content/json-functions.html>
サポートされている cURL オプション：<https://help.claris.com/ja/pro-help/content/curl-options.html>

Claris Connect：<https://www.claris.com/ja/connect/>



アップグレードの際に気をつけること

アップグレード時にポイントとなる機能

- ・ESS（SQL データソースにライブ接続）
外部の SQL データベースにライブで接続をおこない FileMaker のテーブルのように扱う機能です。サポートバージョンが細かく決まっているため確認が必要です。
- ・プラグイン
標準で含まれていない多くの機能を提供しているプラグインは大変便利ですが、現在使用しているプラグインが、アップグレード後の FileMaker のバージョンでもサポートされているか確認する必要があります。場合によってはプラグインが影響してクラッシュしてしまうこともあり得るため、事前の動作確認が重要です。
- ・Web ビューアで JavaScript の使用
FileMaker の標準機能では表現できないインターフェイスの作成などに利用されますが、FileMaker 19.3 より Microsoft Edge WebView2 の変更は大きな影響を受けます。

廃止された機能の一部

- ・レイアウトテーマの一部
廃止されたテーマを使ったレイアウトは、最新バージョンで開いてもそのまま維持されます。
- ・FileMaker Pro ランタイム機能は廃止されました。

その他の機能については、下記 Web サイトの「廃止予定の機能およびオペレーティングシステム」をご確認ください。

<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&num=000024984>

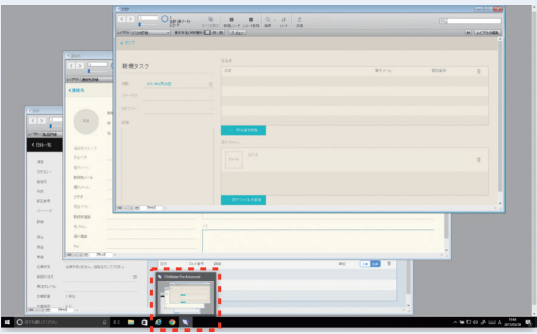
異なるバージョン間での接続互換性

FileMaker プラットフォームの拡張子は、バージョン 12 以降すべて同じ .fmp12 です。バージョン 12 で作成したファイルをそのまま活用できます。ローカルディスク上にあるファイルについては、新しいバージョンのみが備えている機能を除き通常通り使用できます。しかし同じ拡張子 .fmp12 が使用されていても、FileMaker Server を使用してファイルを共有する場合は、ホストとクライアントの互換性を考慮する必要があります。

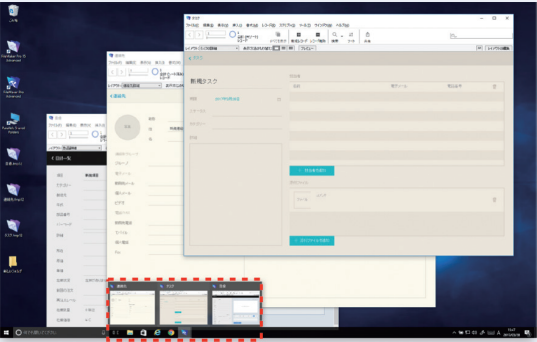
ホストする製品	FileMaker Pro FileMaker Pro Advanced	FileMaker Pro (ユーザ接続用)	FileMaker Go
FileMaker Server 2024	2024、2023（20.3）、19.4.2 以上	対象外	2024、2023（20.3）、19.4.2 以上
FileMaker Server 2023	2024、2023、19.4.2 以上	対象外	2024、2023、19.4.2 以上
FileMaker Server 19	2024、2023 [※] 、19、18	対象外	2024、2023 [※] 、19、18
FileMaker Server 18	19、18、17、16	16	19、18、17、16
FileMaker Server 17	18、17、16、15	16、15	18、17、16、15
FileMaker Server 16	18、17、16、15、14v4	16、15	18、17、16、15、14
FileMaker Server 15	17、16、15、14、13v9	16、15	17、16、15、14、13v9
FileMaker Cloud	2024、2023（20.3）、19.4.2 以上	対象外	2024、2023（20.3）、19.4.2 以上

本資料は 2024 年 9 月時点の情報に基づいた接続互換を表記したものであり、全ての機能が完全動作することを保証するものではありません。また、上記の接続条件は将来変更される可能性があります。上記より後に発表されたバージョンでも接続可能な可能性があります。
FileMaker 12 以降の製品では拡張子 fmp12 が使用されていますが、SSL セキュリティアップデート等により、同じ拡張子でも互換性がなく接続できない可能性があります。

Windows のお客様



MDI



SDI

FileMaker 15 以前では、MDI（マルチドキュメントインターフェイス）を採用しており、必ず親ウィンドウがあり、その中でファイルが開かれていました。FileMaker 16 以降では、SDI（シングルドキュメントインターフェイス）の採用により、右側の画面のように表示が大きく変わりました。画面を最大表示して使っているユーザーへの影響は少ないですが、2 画面に分けて二つのカスタム App を表示させる場合など、基準となる座標の位置が変わったことにより影響がある場合があります。

FileMaker Server のアップグレード

FileMaker Server インストール前に動作環境の確認が必要となります。 さらにバージョンによってデフォルトオプションが変更され動作がこれまでと異なる場合があります。

FileMaker Server オペレーティングシステムドライブの必要条件

FileMaker Server では、カスタム App が別のドライブをホスト元またはバックアップ先にしている場合も、 オペレーティングシステムドライブ上に 100 GB 以上の使用可能な保存領域が必要です。 Windows 環境で C、D、E ドライブのようにパーティション分割する場合にはオペレーティングシステムドライブを極端に小さくしないよう注意が必要です。

パスワードで保護されたデータベースのみを共有する（FileMaker Server 17 以降）

完全アクセス権のアカウントにパスワードが設定されていない、もしくはパスワードが設定されていても自動ログインできるように設定されている場合には FileMaker Server で開くことができなくなります。
CLI コマンド fmsadmin set serverconfig を使用して設定を変えることができます。
fmsadmin set serverconfig securefilesonly=false

[クライアントアプリケーションでのデータベースのフィルタ] オプションがデフォルトで有効（FileMaker Server 19.6 以降）

Admin Console の、[構成] > [FileMaker クライアント] > [データベースのフィルタ] の [クライアントアプリケーションでのデータベースのフィルタ] オプションがデフォルトで有効になりました。
このオプションを無効にするとデータベースの一覧が不正な第三者に閲覧されるおそれがありますが、これまでと同様の運用を行いたい場合は無効にすることができます。

最長呼び出しの使用状況ログがデフォルトで有効（FileMaker Server 2023 以降）

最長呼び出しの使用状況ログ（TopCallStats.log）がデフォルトで有効になりました。
このログは共有データベースに伴うパフォーマンスの問題を特定するのに役立ちますが、 ログプロセスによりサーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。 アップグレード後にパフォーマンスの低下を感じている場合は無効にして動作の比較を行ってください。

※サーバーマシンを自社で持ちたくない場合や、モバイルで外部からアクセスできるようにしたい場合には、 アップグレードの機会にクラウド環境「FileMaker Cloud」への移行も可能です。 Essentials プランであれば、最小 3 ユーザから契約可能です。 詳しくは法人営業窓口まで ご相談ください。

インスタント Web と FileMaker WebDirect



FileMaker 12 までのインスタント Web



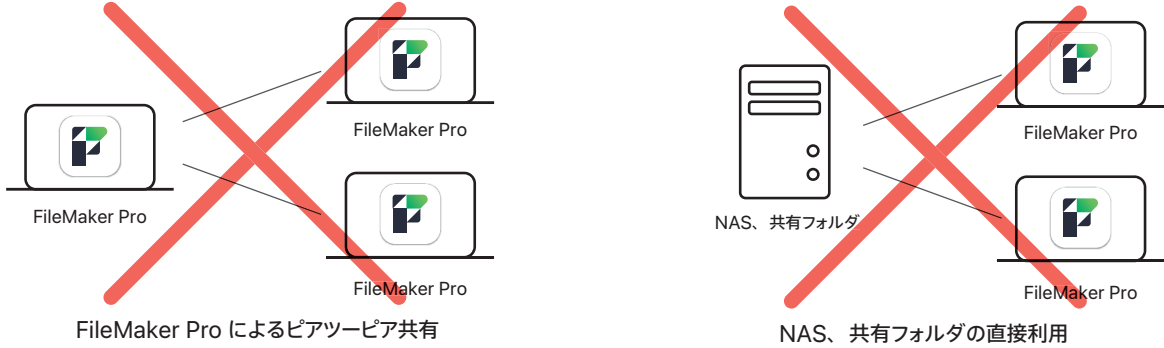
FileMaker WebDirect

FileMaker Server 12 までのインスタント Web 公開に代わり、FileMaker Server 13 で FileMaker WebDirect が登場しました。FileMaker Pro や FileMaker Go と同様に、フィールドの外をクリックすると自動的にデータが保存され、変更された情報もすぐに反映されます。また、他のユーザが同じレコードを編集しようとした場合には排他処理もされるようになりました。
なお、バージョン 17 より URL の方法が変更されているため、すでに FileMaker WebDirect を導入している場合も注意が必要ですが、バージョンが上がるごとにパフォーマンスの向上が図られています。ぜひ最新バージョンをお試しください。

データの共有

FileMaker Server や FileMaker Cloud を利用せずに複数人で利用している場合には共有方法について再検討が必要な場合があります。詳しくは、各 Web サイトをご確認ください。

- FileMaker Pro を使ったピアツーピア共有は安全ではないためテスト目的でのみ使用してください。
<https://help.claris.com/ja/pro-help/content/peer-to-peer-sharing.html>
- OS の共有フォルダや NAS、Cloud ストレージ上のデータベースファイルを直接利用しないでください。
<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&anum=000023967>



ライセンスについて

FileMaker 17 よりボリュームライセンス（法人 / 団体 / 組織向けライセンス）が大きく変わりました。FileMaker 16 以前に販売していた端末台数による契約は廃止されました。

ユーザライセンス

契約する同一組織内の特定の人（ユーザ）が FileMaker を使用する場合に適した契約です。使用する人を「ユーザ」としてカウントし、そのユーザ数で契約します。対象ユーザは、端末や接続数の制限なくデータにアクセスできます。

同時接続ライセンス

不特定多数の人が FileMaker を使用する場合に適した契約です。組織外の人にもデータを公開することができます。契約した同時接続数を上限として、ユーザや端末を問わずデータにアクセスできます。

サイトライセンス (SLA / ASLA)

企業（事業所）/ 団体に所属する全人数で契約するライセンスです。全員の 6 割以上がデータを閲覧、使用する場合、最もお得な契約です。組織内のユーザは、端末や接続数の制限なくデータにアクセスできます。

FileMaker Cloud

オンプレミスの他、高度なセキュリティのクラウド環境（PaaS）として FileMaker Cloud があります。サーバーマシンを自社で持ちたくない、モバイルで外部からアクセスできるようにしたい場合などに最適です。Essentials プランであれば、最小 3 ユーザから契約可能です。詳しくは法人営業窓口までご相談ください。
ボリュームライセンスパンフレット：https://downloads.claris.com/kk/downloads/pdf/FSLP_A4.pdf

FileMaker ライセンス証明書について

FileMaker ライセンス証明書は、FileMaker Pro および FileMaker Server のインストールがライセンス契約のとおり構成されていることを証明する暗号化ファイルです。FileMaker Pro 18 Advanced 以降（ボリュームライセンスの場合）および FileMaker Server 17 以降では、インストール時にライセンス証明書ファイルが必要となりました。最新バージョンでは、契約の種類に関わらずライセンス証明書が必須です。契約時にソフトウェアダウンロード（ESD）ページへのリンクが記載された電子メールを受信している場合、ライセンス証明書はその ESD ページで入手できます。有効なライセンス証明書ファイルが無い場合は、評価版としてインストールされます。詳しくは下記 Web ページをご覧ください。
FileMaker インストール ステップ・バイ・ステップ ガイド：<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&anum=000035666>
Clarix FileMaker Pro インストールガイド：<https://help.claris.com/ja/pro-installation-guide/>
Clarix FileMaker Server インストールおよび構成ガイド：<https://help.claris.com/ja/server-installation-configuration-guide/>
ライセンス証明書は、FileMaker 製品がライセンス契約どおり構成されていることを証明するためのものであり、個人情報を収集するものではありません。<https://support.claris.com/s/answerview?language=ja&anum=000026065>

Claris FileMaker 45 日間 無料評価版

最新の FileMaker Pro および FileMaker Server をお試しください。

<https://www.claris.com/ja/trial/>

FileMaker Go は無料



製品ごとの資料、ガイドを確認する

Claris ヘルプセンター : <https://help.claris.com/ja/claris-help-center/>



すべて無料 豊富なオンライン学習リソース

FileMaker パフォーマンスガイド : <https://www.claris.com/ja/blog/2021/filemaker-performance-guide>

業種別サンプル App : <https://content.claris.com/jpapps>

Claris FileMaker 10 分でスキルアップ : <https://content.claris.com/jp10min-index>

Claris FileMaker トレーニングテキストと解説動画 : <https://content.claris.com/ja/learning-index>



コミュニティを活用する

開発や運用のヒントを得るために日本全国の FileMaker 開発者と交流することができます。

製品の機能に対するリクエストや不具合の報告もこちらにお寄せください。

Claris コミュニティ : <https://community.claris.com/jp/s/>



Claris 認定パートナーを探す

日本全国約 170 社の Claris 公認のエキスパートに、システム導入、開発、トレーニングなどを相談することができます。

Claris パートナー : <https://www.claris.com/ja/partners/>

FileMaker 開発見積依頼 : <https://sales.claris.co.jp/estimate/>

Claris 法人営業窓口

新規購入 : 0120-983-878 / 03-4345-3333

契約更新 : 0120-983-453

受付時間 : 10:00 - 17:30 (当社指定休日・祝日を除く月曜日から金曜日)

お問い合わせフォーム <https://www.claris.com/ja/asksales/>

Claris カスタマサポート

無償サポート : 03-4345-3366 / 050-3628-8844

受付時間 : 10:00 - 17:30 (当社指定休日・祝日を除く月曜日から金曜日)

お問い合わせフォーム <https://www.claris.com/ja/ask/>

© 2024 Claris International Inc. All rights reserved. Claris、クラリス、Claris Connect、Claris Studio、クラリススタジオ、Claris ロゴ、FileMaker、ファイルメーカー、FileMaker Cloud、FileMaker Go、FileMaker Pro、FileMaker Server、FileMaker WebDirect およびファイルフォルダのロゴは、米国および/またはその他の国や地域における Claris International Inc. の登録商標です。その他すべての第三者の商標は該当する所有者の財産です。

免責事項

この資料に含まれている内容は、作成日時点において入手可能な情報に基づくものであり、実際の内容および結果と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。また、本資料に含まれている当社および当社グループ以外の企業などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性について保証するものではありません。本資料内容は 2024 年 9 月現在作成時点の情報です。記載されている会社名、サービス名、用語、記述などは現在と異なる場合があります。